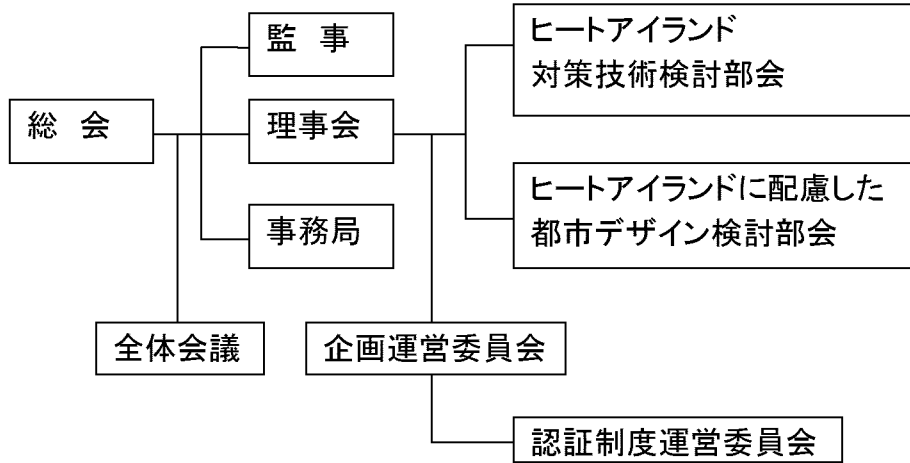


平成23年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成24年4月1日時点)

理事長 水野 稔(大阪大学名誉教授)
副理事長 野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)
理事 森山 正和(摂南大学教授)
池上 俊郎(NPO 法人エコデザインネットワーク理事長、
京都市立芸術大学教授)
泉 正博(関西電力株式会社 前執行役員環境室長)
加賀城俊正(大阪ガス株式会社CSR・環境部長)
監事 西山 潤二(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)
東 信作(大阪市環境局理事兼エネルギー政策室長兼環境施策部長)

平成24年6月1日付の大阪市人事異動に伴い、環境局環境施策部長に就任された高野修一氏が本会会則第7条第5項に基づき、同日付で、東信作氏に代わり監事へ就任
高野 修一(大阪市環境局環境施策部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成23年5月13日)、理事会(同6月8日)、総会(同6月8日)を開催し、理事会及び総会では、平成22年度事業報告、同収支決算、平成23年度事業計画・予算計画、理事の再任及び認証制度運営委員会における認証制度検討状況について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成24年1月11日)を開催し、検討部会の進捗状況及び認証制度運営委員会の検討状況などについて議論し、臨時の企画運営委員会(平成24年4月4日)において、今後の大阪HITECの活動ターゲットに関するフリーディスカッションを行った。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナー等を開催した。

○大阪HITEC 設立5周年記念報告会(平成23年6月8日)

<内容>

大阪HITEC ワーキング活動の現状

①『素材関連 ワーキンググループ』

ワーキング主査 吉田篤正(大阪府立大学大学院教授)

②『熱有効活用・人工排熱低減 ワーキンググループ』

ワーキング主査 中尾正喜(大阪市立大学大学院教授)

③『熱負荷評価手法 ワーキンググループ』

ワーキング主査 水野稔(大阪大学名誉教授)

④『都市デザイン ワーキンググループ』

ワーキング主査 増田昇(大阪府立大学大学院教授)

<参加者>

50名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

保水性舗装及び外断熱の評価基準等について、WG及び2つのサブWG(保水性舗装、外断熱)において検討し、その素案について意見交換を行った。また、研究事業費を活用して、高反射塗料塗布面の日射反射率低下量追跡調査等を行った。

○第23回会合:平成23年4月21日

<内容>

①外断熱SWGの進捗状況について

②高反射率塗料SWGの進捗状況について

③保水性舗装SWGの進捗状況について

④ヒートアイランド対策技術認証制度の検討状況について報告

○第 24 回会合:平成 23 年 11 月 14 日

<内容>

- ①外断熱SWGの進捗状況について
- ②反射率低下量(短期間)の現場測定の提案について
- ③大阪 HITEC 認証制度について
- ④情報提供

○第 25 回会合:平成 24 年 2 月 28 日

<内容>

- ①外断熱SWG認証基準(案)の検討状況について
- ②保水性舗装SWG認証基準(案)の検討状況について
- ③平成 23 年度素材関連 WG 研究事業費の活用報告
「外装材の日射反射性能の測定等に関する中間報告」

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

都市内の人工排熱処理とその利活用等に関する講演会の開催や意見交換を行った。

○第 19 回会合:平成 23 年 8 月 12 日

<内容>

- ①講演 1
「省 CO₂対策を目的とした水道水ミスト散布の排熱施設への適用について」
大阪市水道局計画課担当係長 北野 陽一郎
- ②講演 2
「大阪市水道局における水道資源を活用した都市環境貢献策の推進に係る取組について」
大阪市水道局計画課担当係長 北野 陽一郎

○第 20 回会合:平成 24 年 1 月 20 日

<内容>

- ①講演 1
「清掃工場における排熱利用と下水処理場との連携について」
大阪市立大学大学院教授 西村 伸也
- ②講演 2
「下水道における資源・エネルギー回収の動向」
大阪市立大学大学院教授 貫上 佳則

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術を検討した。

○第 14 回会合:平成 23 年 12 月 9 日

<内容>

- ①保水性コンクリートを用いた実物大建物実証実験について(話題提供)
大阪府立大学 山田教授
- ②報告・検討事項について

- ・ヒートアイランド対策技術認証制度
- ・草本類の緑化技術に関する評価シート
- ・簡易蒸発散評価装置の開発
- ・今後の活動

【熱負荷評価手法WG】

ヒートアイランドに対する環境負荷である地表面等からの大気への顕熱負荷(大気熱負荷)を求めるプログラムの開発を行ない、敷地を含む建築や、地区全体からの大気熱負荷を求める<プログラム①>及び個々のヒートアイランド対策技術ごとに大気熱負荷削減効果を定量的に評価する<プログラム②>を開発した。

○熱負荷評価手法ワークショップの開催:平成 23 年 5 月 26 日

<内容>

プログラム①について、建築物の設計・施工に関わる人に実際に使用してもらい、更なる改良に向けた意見交換を行った。

○ヒートアイランド対策技術ごとに大気熱負荷削減効果を定量的に評価する<プログラム②>の改修

試作プログラムに対する WG 意見を取り入れ、プログラム②のエクセル版を作成した。技術認証制度で当面对象とする、屋根材、舗装材を評価できるようにした。屋根の種類としては、工場屋根①、工場屋根②、ビル陸屋根、木造瓦屋根、折板屋根、(折板屋根以外の構成は環境省の「環境技術実証事業」の構成を採用)を用意した。また、気象条件は、2001 年から 2010 年の大阪の熱帯夜日の平均気象データを用意した。プログラムでは、24 時間周期定常解を求め、大気熱負荷量を求める。大気熱負荷削減量評価のベースラインとしては、日射吸収率 0.2、長波放射率 0.9 の表面材とした。

【都市デザインWG】

ヒートアイランド現象を緩和し魅力ある都市空間を創出する空間デザインと、大阪の夏を涼しく過ごす夢あふれるユニークなアイデアを募集する「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」を実施し、応募作品(都市デザイン部門 21 作品、技術アイデア部門 9 作品)の審査の結果、最優秀作品賞 1 作品、特別賞 2 作品、優秀作品賞 6 作品、奨励賞 1 作品を決定した。

さらに、コンペ応募の全作品を展示する作品展と、コンペ協賛法人のうち 11 法人による、屋上の高反射率化、緑化、人工排熱低減など様々なヒートアイランド対策技術を紹介する協賛法人シーズ紹介展(平成 23 年 9 月 12 日、13 日開催、来場者数 145 名)及び表彰式、応募作品について「大阪のヒートアイランド対策～コンペから読み解く新しい技術やアイデアを探る～」をテーマにパネルディスカッション(平成 23 年 9 月 12 日開催、来場者数 95 名)を開催した。

また、ヒートアイランドに配慮した都市デザインを検討するため、自治体・企業との連携を図った。

○第11回会合：平成24年2月29日

<内容>

ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ受賞作品の顕彰を行うとともに、受賞作品を活用した講演・展示等を通じた広報について確認した。

○第9回コンペ検討委員会：平成23年7月7日

<内容>

審査・表彰式・パネルディスカッションの進め方、印刷物・備品購入等の支出計画について検討を行った

○ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ

審査委員会：平成23年8月26日

<内容>

応募作品30作品を地域特性の考慮、対策技術の総合性、デザイン性、波及効果、独創性等の観点から総合的に審査し、受賞作品を選考した。

(4) 認証制度運営委員会

企画運営委員会の下に認証制度運営委員会を設置し、認証制度の実施に向けた具体的な方策について検討した。大阪 HITEC ヒートアイランド対策技術認証制度を平成23年10月1日に開始した。

○第3回会合：平成23年4月20日

<内容>

- ① 技術評価実施要領に関する検討
- ② 制度内容の具体項目の検討

○第4回会合：平成23年5月13日

<内容>

- ① 技術評価実施要領に関する検討
- ② 技術評価に関する費用負担、評価方法等の検討

○第5回会合：平成23年6月28日

<内容>

- ① 技術評価実施要領及び申込み案内の策定について
- ② 認証制度運営に係る費用に関する検討

○第6回会合：平成23年9月14日

<内容>

- ① 技術評価実施要領等の最終確認について
- ② 認証制度実施に向けた審査体制等について
- ③ 認証制度の運営に関する業務委託等について

(5) 部会活動等の周知

【常設展示ブースの出展及び法人会員シーズ紹介】

循環型社会づくりをめざす最新の環境ビジネスを広く紹介する「おおさかATCグリーンエコプラザ」内のエコプロダクツゾーンに常設展示ブースを出展し、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行うとともに、月毎に法人会員のシーズ紹介（PRパネルの展示、製品のディスプレイ及びパンフレットの配布）を行った。

▽シーズ紹介法人会員

2011年5月	ケイミュー(株)
6月	(株)ベルテック
7月	(株)ベルテック
8月	アーキヤマデ
9月	大日化成(株)
10月	ケイミュー(株)
11月	(株)エスシーエイエヌ
12月	安治川鉄工(株)
2012年1月	日鉄住金鋼板(株)
2月	太陽セメント工業(株)
3月	大日本塗料(株)
4月	(株)大高商会
5月	(株)神清
6月	太平洋プレコン工業(株)

▽おおさかATCグリーンエコプラザの入場者等の状況

2011年5月の入場者人数	16,861人	、	団体見学数	34	団体
6月の入場者人数	14,873人	、	団体見学数	35	団体
7月の入場者人数	13,652人	、	団体見学数	35	団体
8月の入場者人数	33,839人	、	団体見学数	41	団体
9月の入場者人数	14,057人	、	団体見学数	35	団体
10月の入場者人数	15,470人	、	団体見学数	42	団体
11月の入場者人数	20,203人	、	団体見学数	44	団体
12月の入場者人数	14,249人	、	団体見学数	35	団体
2012年1月の入場者人数	13,205人	、	団体見学数	30	団体
2月の入場者人数	13,216人	、	団体見学数	27	団体
3月の入場者人数	24,332人	、	団体見学数	30	団体
4月の入場者人数	14,066人	、	団体見学数	26	団体

【大阪 HITEC NEWS の発行】

検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪 HITEC NEWS Vol. 7』を平成 23 年 12 月 20 日に発行した。

【エコデザインフェアへの出展及び法人シーズ紹介】

おおさかATCグリーンエコプラザ主催の「エコデザインフェア」へ、大阪 HITEC の PR パネルを展示するとともに、パンフレット及びヒートアイランド対策技術認証制度申し込み案内を配布した。

あわせて、10 法人会員によるシーズ紹介（平成 24 年 1 月 26 日～28 日開催、来場者数：846 人）を行った。

(6) ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、ホームページを拡充・更新した。

(7) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。